



鳥インフルエンザ等発生時の防疫措置資材輸送申し合わせ

12月19日、鳥インフルエンザ及び異常家畜（口蹄疫）発生時の防疫措置資材の運搬に係る、後志総合振興局からの要請を受け、緊急時の輸送体制について当JA本所にて申し合わせを行いました。

要請内容は、鳥インフルエンザや口蹄疫が発生した場合に、24時間以内に殺処分、72時間以内に埋却や消毒作業を行うために、家畜保健所に備える資材を発生家畜舎や埋却現場へ運送する必要があるため、当JAが所有するトラック2台と運転手2名の派遣要請を受け、そのトラックにより家畜伝染病発生農場が所在する後志管内の市町村に設置する作業員集合施設へ資機材の運送を行います。この取組は、関係団体各位の家畜伝染病発生時の防疫措置を確実に実施する事を目的としており、実際の発生時にはJAようていは迅速かつ確実に初動防疫作業に使用する資機材を運搬する事が求められます。

要請に応じた当JAの後藤常務は「万が一、管内で発生した場合に、一刻でも早く終息となるよう、しっか

りに対応致したい」と述べ、また、後志総合振興局の熊谷操生産振興部長は、「道内でも初めての申し合わせであるが、家畜伝染病発生時の初動対応にご理解頂き、運搬車両の手配に時間を掛けることなく迅速に対応でき、大変ありがたい。」と述べ、後志総合振興局とJAようていは、管内の家畜の防疫措置に向けた取組を一丸となって取り進める決意を語りました。



左から、申し合わせ書を受け取る後藤常務、熊谷生産振興部長、石山家畜保健衛生所長

女性部第2ブロック研修会 レザーワークに挑戦

12月18日、女性部第2ブロック研修会をニセコ町にて開催しました。

当日は、真狩・ニセコ・留寿都より合わせて20名が参加し、ニセコ町曾我にある「単と珈琲 fan fun」にて、レザーワーク体験としてキーホルダー作りに挑戦しました。ベースとなる革の色選びから、オプショ

ンパーツの配置など、皆さんそれぞれこだわったお気に入りのひとつが完成しました。

お昼は「ニセコノーザンリゾート・アンブプリ」でランチビュッフェを堪能しながら、各支部の活動や農作業、家庭のことなどを語り合い、楽しい研修会となりました。



こだわりのキーホルダーが完成!



ベースとなる革の色選び